



令和4年11月8日  
海上幕僚監部

(お知らせ)

## 日米印豪共同訓練（マラバール2022）について

海上自衛隊は、「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向けて連携を強化すべく、次のとおり米海軍、インド海軍及びオーストラリア海空軍と共同訓練を実施します。

### 1 目的

海上自衛隊の戦術技量の向上並びに米海軍、インド海軍及びオーストラリア海空軍との相互運用性の向上

### 2 期間

令和4年11月8日（火）～11月15日（火）

### 3 訓練海空域

関東南方

### 4 参加部隊

- (1) 海上自衛隊：護衛艦「たかなみ」・「しらぬい」・「ひゅうが」、輸送艦「くにさき」、補給艦「おうみ」、潜水艦、P-1、UP-3D、特別警備隊
- (2) 米海軍：空母「ロナルド・レーガン」、巡洋艦「チャンセラーズビル」、駆逐艦「ミリウス」、P-8A、特殊作戦部隊
- (3) インド海軍：フリゲート艦「シヴァリク」、対潜コルベット艦「カモルタ」、P-8I、特殊作戦部隊
- (4) オーストラリア海軍：フリゲート艦「アラント」、補給艦「ストルワート」、潜水艦
- (5) オーストラリア空軍：P-8A

### 5 主要訓練項目

各種戦術訓練（対潜戦、対空戦、洋上補給等）

### 6 その他

- (1) 今年はマラバール30周年にあたり、本訓練に合わせて11月5日（土）に4か国の参謀長級懇談を実施しました。
- (2) 新型コロナウイルス感染症への必要な対策を行い実施します。